



# 議会だより

# たむら

2017  
第50号

平成29年8月1日発行

「大越小学校 プール授業」

夏空のもと、元気いっぱい体育の授業を受けています！！



## 6月定例会概要

平成29年6月定例会は6月9日から6月23日までの15日間にわたって開かれました。

本田市長より条例の一部改正、平成29年度各会計補正予算などの議案が提出され、すべて原案のとおり可決しました。また、議員発議による意見書提出、議員報酬削減の条例改正議案が提出され、意見書提出議案は、原案のとおり可決され、議員報酬削減の条例改正議案は、否決されました。

### ○市長の所信表明

4月9日執行の市長選挙により初当選された本田仁一市長が、6月定例会の冒頭、所信表明を行いました。その内容は下記のとおりです。

市民の皆様からの絶大なるご信任をいただき、第2代市長として市政を担わせていただくこととなり、これからの厳しい時代を見据え、新たな時代を切り拓く覚悟を持ち、全身全霊を傾けて市政運営に取り組んでまいります。

市長に着任して以降、私は現場主義を徹底し、多くの時間を使い、自ら現場へ足を運び、生産者や事業主、地域の方々のご意見をお聴きしながら、いかに市政に反映していくかを考えてまいりました。加えて、雇用促進や企業誘致のためのトップセールス、復興大臣や内堀県知事をはじめとした国・県幹部への協力要請などを精力的に行ってまいりました。今後も、積極的に現場へ赴き、市民の皆様の声に耳を傾けながら、行動力のある市長として、市政運営に努めてまいります。

今後の市政運営に当たっての重要なポイントは3点であり、1点目は『人づくりの推進』、2点目は『まちづくりの推進』、3点目は『未来づくりの推進』です。また、選挙公約として掲げた施策の方向性と今後の取り組みとして、『地域づくり協議会』、『誇れるまちづくり』、『市民の手による地域創生』、『生活環境の充実』、『子育て・教育支援』、『道路・水道・防災対策』、『働く場の確保と産業の創出』、『健康と福祉』に係る様々な施策に取り組んでまいります。

最後に、市民の皆様が将来にわたり安全で安心して暮らせる地域社会を築き、「田村市に住んでよかった」と実感していただけるよう、皆さまの声をお聴きし、その想いを胸に刻みながら、暮らしに寄り添ったまちづくりを進めていくことが、私に課せられた使命であり、市の更なる飛躍が、この国の明るい未来につながっていくものと強く信じ、市長として全力で市政運営に取り組んでまいります。



本田仁一市長の所信表明（6月定例会開会日（6月9日））

### ○教育委員の任命

教育委員について、下表の方の任命に同意しました。

区分	氏名	住所	生年月日
再任	増田 英子 (ますだ えいこ)	常葉町堀田字鳴子 70-3	昭 33.5.10
新任	船田 隆典 (ふなだ たかのり)	船引1町船引字南町通 47	昭 25.8.28
	渡邊 世子 (わたなべ せいし)	都路町古道字新町 35	昭 26.3.7

### ○監査委員の選任

監査委員について、下表の方の選任に同意しました。

区分	氏名	住所	生年月日
新任	郡司 健一 (ぐんじ けんいち)	滝根町菅谷字小三郎内 119	昭 24.4.7

### ○平成29年度補正予算

平成29年度一般会計、各特別会計の補正予算が提出され、原案のとおり可決しました。予算額については、下表のとおりです。

#### ○一般会計補正予算

補正額（補正後予算総額）	補正の主な理由
8億4,471万3千円増 (290億9,471万3千円)	歳入 国庫支出金、繰入金の増額 県支出金、諸収入の減額 歳出 総務費、衛生費、農林水産業費、土木費、教育費等の増額 商工費等の減額

#### ○各特別会計補正予算

会計名称	補正額	補正後予算総額
特別会計 国民健康保険	3億2,795万5千円減	48億6,314万5千円
滝根町観光事業	1億6,074万0千円増	7億5,074万0千円

## 定例会で審議された議案

区分	番号	件名	議決結果
発議	1号	地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書の提出について (提出者 半谷 理孝 議員)	原案可決
	2号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書の提出について (提出者 大橋 幹一 議員)	原案可決
	3号	議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正 (提出者 大橋 幹一 議員)	原案否決
	4号	議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正 (提出者 土屋 省一 議員)	原案否決
承認	2号	専決処分事項の承認 (税条例の一部改正)	承認
	3号	専決処分事項の承認 (平成23年東日本大震災に伴う東京電力第一原子力発電所の原子力緊急事態宣言に係る被災者に対する平成29年度市税等の減免の特例に関する条例)	承認
議案	42号	市長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正	すべて原案のとおり可決
	43号	税条例等の一部改正	
	44号	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業利用者負担額の上限を定める条例の一部改正	
	45号	国民健康保険税条例の一部改正	
	46号	介護保険条例の一部改正	
	47号	平成29年度一般会計補正予算 (第1号)	
	48号	平成29年度国民健康保険特別会計補正予算 (第1号)	
	49号	平成29年度滝根町観光事業特別会計補正予算 (第1号)	
	50号	常葉体育館耐震改修・大規模改修建築主体工事請負契約	
諮問	1号~5号	人権擁護委員の候補者の推薦	適任
同意	6号~8号	教育委員の任命	同意
	9号	監査委員の選任	同意

### ○議員発議による議員報酬条例の一部改正

6月定例会最終日に、議員発議により、「議員報酬等を10%削減する、適用時期の異なる2通りの条例改正案」が提出されました。

いずれの案とも、適用を平成29年7月1日からとし、

- ①発議第3号は、【恒久的に削減しようとする案】、
- ②発議第4号は、【現議員任期中の平成30年4月30日を期限とするもので、その後の取り扱いについては、新たに議員となられた方に判断を委ねる案】、

であります。採決の結果、下記の賛否一覧表のとおりとなり、いずれの案とも否決となりました。



【※報酬削減条例改正案の提出した背景には・・・】

急激な少子高齢化社会の進行と多様化する市民ニーズにこたえるために、財源の確保が急務であるが、普通交付税の縮減（合併後10年経過し段階的に交付額が減額される）や自主財源である市税等の大幅な増加が見込めない現状を踏まえ、議会としてできることから対応する時期に来ているとの判断がある。

## 6月定例会賛否一覧表

※意見が分かれた議案等について掲載しました。

議案等名	会派名	議員名	議決結果	賛成 反対	市民 net たむら					政友会			たむら志政会		市民クラブ			新政 たむら未来		無会派		無会派	
					大橋 幹一	安瀬 信一	遠藤 雄一	渡邊 照雄	箭内 仁一	菊地 武司	猪瀬 明	半谷 理孝	宗像 公一	白石 恒次	照山 成信	大和田 博	土屋 省一	橋本 紀行	長谷川 元治	石井 文夫	吉田 忠夫	木村 高雄	遠藤 正徳
陳情第3号 農業者戸別所得補償制度の復活を求める陳情			不採択	4 : 15	●	●	●	●	●	●	○	●	○	●	●	●	○	●	●	○	●	●	
発議第3号 議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正			原案否決	9 : 10	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	
発議第4号 議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正			原案否決	8 : 11	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

○：賛成 ●：反対

# 請願・陳情

6月定例会において、請願1件、陳情4件が審議されました。

## 請願

○ため池除染に関する請願書【継続審査】

請願者 田村市福幸めざす会 代表 松本 悦子  
紹介議員 遠藤 雄一 議員

## 陳情

○地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書の提出等について【採択】

陳情者 全国市議会議長会 会長 岡下 勝彦

○福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の陳情について【採択】

陳情者 日本労働組合総連合会福島県連合会田村地区連合会 議長 白岩 進一郎

○作物栽培被害に関する陳情書【不採択】

陳情者 常葉町新田作区長 樽井 昭夫

○農業者戸別所得補償制度の復活を求める陳情【不採択】

陳情者 郡山地方農民連 会長 宗像 孝

## ○議員発議による意見書の提出

6月定例会で審議された「地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書の提出等について」及び、「福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の陳情」が、本会議において、それぞれ全会一致で採択されたことに伴い、議員発議により、内閣総理大臣ほか関係する各大臣等に対する意見書提出議案が提出され、全会一致で原案のとおり可決されました。

## ○人権擁護委員の推薦

本年9月30日をもって任期満了となる人権擁護委員5名のうち、右表のとおり3名の再任と、退任する2名の後任の新たな候補者を推薦する諮問があり、いずれも適任としました。

区分	氏名(地域)	区分	氏名(地域)
再任	佐藤 重孝(船引) (さとう しげたか)	新任	白岩 昌平(常葉) (しらいわ しょうへい)
	白石恵美子(船引) (しらいし えみこ)		菅野 公治(常葉) (かんの こうじ)
	橋本 道春(船引) (はしもと みちはる)		

## ○常葉体育館耐震改修・大規模改修建築主体工事請負契約

去る5月31日に入札を行った、常葉体育館耐震改修・大規模改修建築主体工事請負契約について、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例の規定(予定価格1億5,000万円以上)により、議会の議決を求めるものであり、原案のとおり可決しました。詳細は、右表のとおりです。



契約の名称	常葉体育館耐震改修・大規模改修建築主体工事
契約方法	条件付き一般競争入札による契約
契約金額	1億7,658万円
契約の相手方	(株)西向建設工業 代表取締役 石井 國仲

## 全国市議会議長会特別表彰

去る5月24日に行われた第93回全国市議会議長会定期総会において、宗像公一議員が表彰されました。

この特別表彰は、合併前の旧町村議会議員としての在職期間の2分の1と、合併後の市議会議員としての在職期間を通算し、20年以上議会議員の職にある者またはあった者に贈られます。



宗像 公一 議員  
田村市議会議員 12年2カ月  
旧船引町議会議員 17年3カ月



## 市議会議員補欠選挙

平成29年4月9日に田村市議会議員補欠選挙が行われ、1名の方が当選されました。

(詳細は下記のとおりです。)

①所属常任委員会 ②住所 ③電話番号



1番 白石 勝彦 議員  
①市民福祉常任委員会  
②大越町下大越字中原188  
③79-3019

市大改革の具体的施策は。

子育て支援や産業の創出などに取り組みます。



市民net  
たむら  
大橋 幹一 議員

### 田村市大改革について

問 ①大改革宣言の具体的施策は。

答 (市長)

①「市民目線のもっと元気で安心な田村市づくり」を実現するため、市の魅力を磨き上げ、誇れるまちづくりを進めるとともに、健康で安心・安全に暮らせる生活環境、未来を担う子供たちのための子育てや教育を支援し、働く場の確保、産業の創出を着実に進め、市内にずっと住み続けられるようなまちづくりを、強いリーダーシップとスピード感を持って取り組んでまいります。

### 産業の創出と働く場の確保について

問 ①新たな産業の創出に向けての取り組みは

②産業団体や生産者団体との協議会の設置は。

答 (市長)

①大越町の産業団地への木質バイオマス発電所建設により燃料チップの製造施設などの木材加工・流通施設の誘致に取り組み、産業の振興と雇用の創出を図ります。

②現在、個別企業訪問を通じ、企業の実情や課題などの把握を行っていますが、今後、各団体と広く意見交換を行う場を適切な時期に設置したいと考えております。

### 誇れるまちづくりについて

問 ①Uターン・Iターンと2地域居住推進策に取り組んだ成果は。

②定住化促進のための教育・医療の取り組みは。

答 (副市長)

①各種施策の成果として、ふるさとUターン定住促進事業は2名、子育て世代住宅支援補助事業は2世帯、転入子育て世代サポート事業は23世帯38名などとなっており、29年度は希望者個々の相談に応じるなど、地方創生推進交付金事業を活用した、移住チャレンジプラットフォームなど、さらなる居住推進策を展開してまいります。

②子供たち一人ひとりの個性や能力を伸ばし、たくましく生き抜く力を育む教育や、安心して子どもを産み育てることができるよう、小児科・救急医療などの整備が重要と考えることから、県に対し、医師の養成確保を一層求めるとともに、診療所の誘致などを進め、近隣町村とも連携しながら、安心して子育てのできる医療体制の充実・確保に取り組んでまいります。

#### その他

- ・市民の手による地域創生の取り組みについて
  - ・教育支援について
  - ・空き公共施設について
- 質問を行いました。

## 代表・一般質問

4名の方が代表質問、10名の方が一般質問しました。

市政全般について質問することが代表質問、様々な課題等について詳細に質問することが一般質問です。議員は政策提言も含めて質問することができ、内容は自由です。ここでは、全質問項目(下表)を議員ごとに掲載しておりますので、ご覧ください。

市政全般			
代表	田村市大改革について	大橋幹一議員	P5
	事業の継続について	白石恒次議員	P6
	民間的手法について	宗像公一議員	P7
一般	市役所職員の適正配置について	吉田文夫議員	P9
	公約について	木村高雄議員	P10
	行政局、出張所機能について	半谷理孝議員	P10
	市長の権限について	照山成信議員	P12
	市長の政治活動について	照山成信議員	P12
	市政執行について		
	市民の顕彰について		

保健・福祉			
代表	子育て支援について	菊地武司議員	P6
	健康と福祉策について	吉田文夫議員	P7
一般	健康と福祉について	渡邊照雄議員	P8
	障害者差別解消法施行について	白石勝彦議員	P8
	授産場の運営改善について		
	高齢者、障がい者在宅介護の支援拡大について		
	介護人材の育成について	木村高雄議員	P9
	子供の貧困対策について	安瀬信一議員	P9
	子育て・教育支援について		
	少子化対策について		
	敬老会開催のあり方について	遠藤雄一議員	P11

まちづくり			
代表	誇れるまちづくりについて	大橋幹一議員	P5
一般	雇用創出及び定住化促進への取り組みについて	石井忠治議員	P11

産業・観光			
代表	産業の創出と働く場の確保について	大橋幹一議員	P5
一般	田村市の観光施設並びに観光事業について	土屋省一議員	P10
	観光事業について	遠藤雄一議員	P11
	農業の6次化について		

原発関連			
一般	閉閑所農林業系廃棄物減容化事業の現状と今後の見通しについて	土屋省一議員	P10

安全・安心			
一般	道路・防災対策について	吉田文夫議員	P7
	道路環境整備について	渡邊照雄議員	P8
	上水道事業について	安瀬信一議員	P9
	道路整備と道の駅について	石井忠治議員	P11
	船引バイパス供用開始に伴う周辺関連道路網整備計画の実態と課題について	照山成信議員	P12
	市道三合内線の拡幅改良について		

教育			
代表	教育施策について	菊地武司議員	P6
	教育について	白石恒次議員	P9
一般	学校給食無料化について	木村高雄議員	P9
	市内小学校等の統廃合計画及び現施設の有効活用について	石井忠治議員	P11

※代表質問や一般質問の方の欄にQRコードが掲載されています。スマートフォンなどで読み取っていただきますと、ユーチューブの録画映像にアクセスできますのでご利用ください。

## 事業の継続について

**問** ①入札延期や入札指名基準の変更及び人事異動など、どのような根拠で行われたのか。

**答** (総務部長)

①入札延期については、数千万円から数億円に上る高額な案件を、内容の確認をしないまま入札に付しては、発注者として市民への説明責任を果たせないと判断したためです。また、入札指名基準については、入札参加者の地域区分が設けられていたため、同じ市内でありながら区分された他の地域に支店や営業所を開設していたなどの不合理が散見されたため、その妥当性について検討するためです。さらに、人事に関しては、市政を担う上でそれぞれの職員が持つ知識や経験、姿勢などを総合的に判断し、将来あるべき姿の創造に向けて、スピード感を持って、確実に進展できるような配置してまいりたいと考えております。

## 教育について

**問** ①市の教育はどうあるべきと考えているのか。

**答** (市長)

①将来のまちづくりを担うのは、ここで育つ子供たちであります。未来を担うひとづくりを基本方針に掲げ、緑あふれる自然豊かなふるさとに誇りを持ち、志を立て、社会の頼もしい担い手として力強く生きることのできる子どもの育成を目指します。



授業風景（常葉中学校）

## 民間的手法について

**問** ①民間的手法を取り入れた行政執行の内容及び具体例は。

**答** (副市長)

①民間的な行政経営とは、経済合理性とスピード感と大胆な事業の見直しだと考えており、事業の選択と集中を行い、必要と思われる事業には予算も人材も集め、短期間で成果を出せる体制を整え、一つの手段として、年1回しか行われなかった人事異動を、適時・適切なタイミングで行い、場合によっては部局横断型のプロジェクトチームを編成し、政策の早期実現を目指します。

その他

- ・市大改革について
  - ・クラスター方式について
  - ・予算見直しについて
  - ・危機管理について
- 質問を行いました。

市の教育に対する市長の考えは。

地元を誇りを持ち、志を立て、力強く生きる子どもを育成します。



たむら志政会  
白石 恒次 議員

屋内・屋外遊び場の整備は。

利用者のニーズを踏まえて対応します。



市民net  
たむら  
菊地 武司 議員

## 子育て支援について

**問** ①冬期間の利用を含め、屋内・屋外子ども遊び場の整備をどう進めるのか。

**答** (市長)

①設備の充実した、休日にも利用できる施設の整備を求める声が多く寄せられており、現在、市の遊休施設を利用する案と新設する案の2案で、検討を進めております。今後、利用者のニーズを踏まえ、整備箇所や規模、設置遊具や内容などを熟考した上で、施設整備を進めてまいります。



屋外で遊んでいる子供たち（船引児童館）

## 教育施策について

**問** ①生涯学習等複合施設の形態及び完成予定時期は。

**答** (市長)

①図書館や公民館などの機能を備え、隣接する文化センターとの一体的な運営により、市民の学習と交流の機会を充実させ、にぎわいの創出による復興の推進を目指してまいりたいと考えております。また、施設運営及び設計・建設においては、民間事業者の資金や経営上のノウハウ、技術的能力を活用し、コストの削減を図りつつも、質の高いサービスを供給できるよう、官民連携手法の導入を検討しており、平成32年度の完成を目指しております。

## 健康と福祉策について

**問** ①パークゴルフ場新設に向けての対応は。

**答** (保健福祉部長)

①市民の健康増進は重要な課題であり、気軽に取り組めるパークゴルフの普及は、健康寿命延伸となる有効な施策の一つであると考えております。また、会員数約400名を数えるグランドゴルフ協会からも、開設に向けた提案などもいただいていることから、必要な面積や適した土地の選定など、新設に向けた具体的な検討を行ってまいります。

その他

- ・市民サービスについて
  - ・連携中枢都市圏について
- 質問を行いました。

## 公約について

- 問** ①総合計画と大改革宣言との整合性は。  
②地域づくり協議会の設置と地域的な不均衡対策は。

**答** (市長)

①総合計画は、中長期的な視点に立って総合的・計画的に市政運営を進めるための指針であり、大改革宣言とは、市政の停滞感、閉塞感の払拭や、人口減少と地域の衰退に歯止めがかからない現状を一刻も早く打破すべく、市民の皆さまの熱い期待を背負い、これまでにないスピード感で市役所改革・新規施策に取り組むという私の政治姿勢を表したものであります。成り立ちは異なるものの、いずれも「市民のために、そして、市民とともに」まちづくりを進めるという改革の基本理念は、整合しているものと考えております。

②協議会の設置は、緒についたばかりですので、現時点で明示できる具体的な事柄はありませんが、職員の政策提言や市民の皆様からのご意見、ご提案を踏まえながら準備を進めてまいります。また、総合計画後期基本計画や地域創生総合戦略などをもとに、市民がどの地域に住んでいても等しくサービスを楽しむ行政運営に努めていくとともに、職員からの地域課題解決に係る政策提案も考慮しながら、選択と集中を図り、効果的そして効率的な地域的な不均衡対策を講じてまいります。

## 道路・防災対策について

- 問** ①広域的避難協定の締結は。

**答** (建設部長)

①現在、広域避難計画について、県より提示された避難先施設の再検討を行っており、今後、避難先となる14市町村と施設や受入れ人数などの協議を行い、市が策定した広域避難計画について、県の承認を受けたのち、個別に避難協定を締結してまいりたいと考えております。

## 健康と福祉について

- 問** ①介護人材の育成は。

**答** (保健福祉部長)

①市では、県の取り組みと連動した専門学校生の受入れや奨学金の支給、働きやすい職場環境づくりや人材育成のための各種制度の周知を図りながら、市内の事業所に介護人材の育成・確保を促すとともに、介護を必要としなくて済む、健康寿命延伸に向けた介護予防事業の強化に努めてまいります。

その他

・公共施設等の管理の基本方針について  
質問を行いました。

地域的な不均衡対策は。

効果的・効率的な対策を講じてまいります。

吉田  
文実  
議員



職員を適材適所に配置する判断は。

市民サービスの向上を念頭に置き、適切な配置に努めています。



政友会  
宗像 公二  
議員

## 市役所職員の適正配置について

- 問** ①適材を適所に配置する判断は。

②経験のない人材の適材適所とは。

**答** (副市長)

①職員の配置に当たっては、能力や適性を査定するとともに、希望や意欲を反映できるよう、職員が持つ知識や経験を総合的に判断するとともに、士気の高揚やレベルアップにも配慮しながら、市民サービスの向上につながることを念頭に置いた、適切な配置に努めてまいります。

②職員の配置については、総合的な見地から実施したいと考えており、その中では、過去に配置歴のない部署への異動もありうることであり、どの部署にも通じるものと考えております。

(再質問)

- 問** 論功行賞(※)を疑われるような人事をしてはいけないのではないかと思うが、誰が適任と判断した人事だったのか。

**答** (市長)

適材適所により人事配置をしたわけではありますが、代表質問ということを重ねて、今後、人事配置につきましては、検討していきたいと考えています。

※論功行賞とは・・・

手柄の有無や大小を論じ定めて、それに応じた賞を与えること

その他

- ・市大改革について
- ・人口減少対策について
- ・市の医療対策について
- ・バイオマス発電事業の進捗状況について
- ・養鶏農場の市内への進出について
- ・田村森林組合の新しい加工場について
- ・利益相反について
- ・消防の設備充実と団員の待遇について
- ・高額借地の見直しについて
- ・職員定数について

質問を行いました。

## 授産場の運営改善について

- 問 ①授産場本来の福祉施設としての機能を市の授産場は果たしているのか。  
②段階的な民営化の方針は。

答 (市長)

①開設以来、所期の目的を果たしてきたと考えておりますが、障害者自立支援法などの施行により、障がい者福祉サービス体系が変化していることから、福祉施設としてバリアフリー化や有資格者の配置などの要件を満たす必要があると認識しています。  
②財政負担の軽減と運営の効率化のため、民間活力による運営管理は効果的と認識しており、他の就労継続支援事業所や民間事業所への移行を含め、運営のあり方を検討してまいります。



授産場

## 高齢者、障がい者在宅介護の支援拡大について

- 問 ①二次救急医療の充実を公約しているが、具体的にはいつ頃までに、どこに施設を設置するのか。

答 (保健福祉部長)

①二次救急医療の整備については、福島県医療計画における基準病床の規制と、医療従事者不足による人材確保が課題となっており、現在、時期や場所などを具体化できる見通しが立っておりません。しかし、二次救急医療の充実は喫緊の課題であり、今後も関係機関と連携し、早期の施設整備の実現を目指します。

## 介護人材の育成について

- 問 ①介護人材をいつ頃までにどの程度の規模で育成するのか。また、「やり甲斐のある職場環境」や「待遇の改善」の実現可能に向けた具体策は。

答 (保健福祉部長)

①介護人材の育成などについては、県の介護保険事業支援計画で示されるため、現時点では具体的な内容は示せませんが、県の事業の周知と地域包括ケアシステムの構築などに重点を置き、人材の育成・確保と要介護者の減少に努めてまいります。また、やりがいのある職場環境や待遇の改善については、研修機会の確保などの技術的支援を図り、介護職員が長く働ける環境づくりに努めてまいります。



白石 勝彦 議員

授産場の段階的な民営化方針は。

運営のあり方を検討します。



車いすによる乗降支援策は。

J Rと連携して対応してまいります。



渡邊 昭雄 議員  
(公明党)

## 道路環境整備について

- 問 ①国・県・市道等除染が必要ない地域の側溝堆積物の除去の対応は。

答 (建設部長)

①福島再生加速化交付金による道路等側溝堆積物撤去・処理支援事業を活用して、側溝に堆積した土砂を取り除くこととしており、今後は、行政区長に依頼して実施した市内の道路側溝の調査結果や、現地調査などにより、対象とする道路側溝を特定し、国に事業計画を提出し、事業に着手する考えです。

## 上水道事業について

- 問 ①老朽管（石綿セメント管）のここ5年間の更新の推移と今後の計画は。

②朝夕供給不足が生じている地域は何か所か。またその改善策は。

答 (水道事業所長)

①更新については、平成18年度に全体計画を5.4kmと定め、10年間の年次計画により進めており、進捗状況は、平成18年度から平成24年度末までに2.9kmの工事が完了、その後、平成25年度からの4年間で6kmの工事を進め、平成28年度末時点で、3.5km 65.4%の工事が完了しています。なお、1.9km 34.6%の更新が未了であります。今後の計画は、石綿管更新の補助事業が無い場合、単独事業で下水道工事や道路改良工事にあわせて更新を進める考えです。  
②把握しているのは、船引地区1か所、常葉地区2か所の計3か所で、改善策として、引き続き水道の適正使用の周知や漏水箇所の早期発見と復旧に努めることと考えております。

## 障害者差別解消法施行について

- 問 ①市内の障がい者の人数と就労実態は。

②船引駅の駅員勤務時間外の車いすによる乗降支援策は。

答 (保健福祉部長)

①障害者手帳を取得している方は、本年5月1日現在で、身体障がい者が1,537人、知的障がい者が332人、精神障がい者が169人の合計2,038人です。就労実態については、製造業、サービス業、福祉施設など、民間企業の障がい者雇用枠での採用が増加傾向にあり、就労意欲のある障がい者の雇用拡大のため、トライアル雇用や復職支援の周知、ハローワーク障がい者就職面接会への地元企業の参加促進を図っているところです。  
②駅員が介助することを基本としておりますが、無人となる時間帯がある場合は、事前連絡が必要なことから、相談内容に応じて車いす利用者の対応を行うと聞いており、市としても車いす利用者の実態把握と車いす利用者への周知などについて、J Rと連携して対応してまいります。

その他

・健康増進と福祉対策について質問を行いました。

## 子育て・教育支援について

- 問** ①船引保育所の移転または改築の考えは。  
②幼児教育・義務教育の学力向上に向けての支援は。(市長)
- 答** ①現在の船引保育所は手狭感があり、老朽化していることから、遊休資産・施設の活用も含め、移転や改築の検討を始めております。  
②保護者と連携した各種カリキュラム等の取り組みにより、幼児教育から義務教育への円滑な移行を図り、小中学校での授業の充実を柱とした、学力向上の取り組みが効果的に展開できるよう支援してまいります。



船引保育所

## 少子化対策について

- 問** ①婚活支援についての市長の考えは。  
②産婦人科や助産師のいない状況で女性外来の必要性についての市長の考えは。
- 答** (副市長)  
①市民提案型の出会いのイベントへの支援などを行ってまいりましたが、本年度は、仮称・結婚世話やき人制度を創設し、養成講座等を開催するなど婚活の資質向上を目指してまいります。  
②市内には、分娩を取り扱う産婦人科がないことから、安心して出産できる環境の整備が必要であり、近隣市町村とも連携し、女性外来や分娩を取り扱う産婦人科の開設が可能となるよう取り組んでまいります。

## 道路整備と道の駅について

- 問** ①これまで計画されていた道路整備計画の順位付けは。  
②道の駅の候補地を検討する時期だと思うが、市長の考えは。
- 答** (建設部長)  
①国県道へ接続する緊急性の高い道路を優先するとともに、計画中の全路線についても再検討し、財政状況を踏まえながら整備してまいります。  
②当初計画から年数が経ち、社会情勢などが変化していることから、景観や利便性、経済性などを踏まえ、県や関係機関と協議の上、再検討してまいります。



安瀬 信一 議員

船引保育所の移転・改築の考えは。

遊休資産などの活用を含め、検討します。



学校給食費無料化対策は。

早期に実現できるよう検討します。



木村 高雄 議員  
(日本共産党)

## 子供の貧困対策について

- 問** ①就学援助制度の入学準備金が、市では入学以降に支給されているが、入学前に支給すべきでは。  
②子供の貧困に関する実態調査をすべきでは。
- 答** (市長)  
①平成29年4月に国の要綱の一部改正が行われ、「就学児童・生徒」に「就学予定者」まで対象が拡大され、速やかな支給が行えるよう見直しが図られたことから、市においても、国の制度改正の趣旨と県内の動向も踏まえ、援助が必要な児童・生徒の保護者に対し、適切に対応してまいります。  
②実態調査については、国の大綱に基づき、平成28年度に県で実施しており、その実態調査結果を踏まえ、市においても必要な支援を実施してまいりたいと考えております。

## 行政局、出張所機能について

- 問** ①行政局・出張所の機能が後退していると思われるが、強化・充実を図るべきでは。  
②行政局・出張所などに一定の予算を確保すべきでは。
- 答** (総務部長)  
①市民サービスを提供していくためには、行政局や出張所のあり方はもちろんのこと、市役所の組織全体を間断なく検証する必要があることから、地域の方々の声を聞きながら、そのあり方についても引き続き検討してまいります。  
②行政局・出張所には、管内の道路や用排水路の修繕費などの予算を計上していますが、今後、各地域の特性を踏まえ、一層の振興発展となるよう、引き続き効果的な予算の確保に努めてまいります。

## 学校給食無料化について

- 問** ①学校給食無料化はどのように進めるのか。また、実施時期は。
- 答** (教育長職務代理者)  
①子育て支援を進める上で、効果的と考えることから、児童・生徒の給食費のうち、保護者に負担していただいている材料費相当分の財源確保を図り、早期に実施できるよう検討してまいります。



学校給食(滝根小学校)

## 開閉所農林業系廃棄物減容化事業の現状と今後の見通しについて

- 問** ①仮設焼却施設の現状と焼却開始までの見通しについて、国からどのような説明を受けているのか。  
②施設稼働開始後、安全で円滑な業務遂行を監視監督すべきと考えるが、その対応は。

**答** (産業部長)  
①環境省から仮設焼却施設の工事はすべて終了し、現在、農林業系廃棄物の仕分け作業や重機操作といった作業員の習熟訓練及び構内安全教育など実施しているとの説明を受けております。焼却開始までの見通しは、6月上旬から廃棄物の搬入を開始、その後、10月にかけて試運転を行い、本格稼働は焼却灰の運び出しが可能となる11月頃との説明を受けております。  
②業務遂行を監視するため、ライブカメラの設置を強く要望してきたところ、施設の状況を市のホームページで常時見られるよう、現在、環境省において作業を進めていると伺っております。

## 田村市の観光施設並びに観光事業について

- 問** ①観光施設並びに観光事業の現状と今後の施策は。  
②こどもの国ムシムシランド等再生検討業務の進捗状況と今後の方針は。

**答** (産業部長)  
①平成28年度のおぶくま洞をはじめとした市内観光施設の利用者数は、平成22年度の利用者数と比較して、63%にとどまり、依然として震災前の水準まで回復していない状況です。今後、各種イベントや安全・安心に関する情報など誘客促進に向け、積極的に周知を図ってまいりたいと考えております。  
②遊具の撤去については、予定通り作業が進んでおり、再生検討業務については、新たなターゲットになりうる首都圏の女性の意見を踏まえた課題分析の報告を受けております。その課題分析を踏まえ、今後、子どもだけではなく、大人にも魅力を伝えるメニューの提案を進めながら、田村の観光シンボルとして再生できる検討を深めてまいります。



遊具を撤去する前のムシムシランド

### その他

- ・特別支援学校に対する市の取り組みについて
  - ・公共施設等総合管理計画について
- 質問を行いました。

ムシムシランド再生の方針は。

様々な課題分析を踏まえ、検討していきます。



土屋省一議員



入札に対する考えは。

公募による入札が基本と考えています。



半谷理孝議員

## 市長の権限について

- 問** ①公共施設内全面禁煙の内容は。また、本庁舎や消防屯所などを分煙にする考えは。  
②職員への制服支給についての考えは。  
③入札についての考えは。

**答** (総務部長)  
①市の公共施設の内、学校、保健センター、医療機関などでは、以前から敷地内全面禁煙を実施しておりましたが、本庁舎や老人福祉施設など、分煙や対策なしの施設がありました。このため、公共施設利用者の受動喫煙を防止し、市民の健康寿命延伸となるよう、本年5月から本庁舎を含むすべての公共施設において、建物内全面禁煙を実施しました。本庁舎などの分煙スペースの確保に関しては、受動喫煙防止の観点から、現時点で設置する考えはありません。  
②職員の制服支給に関しては、市民が一目で市役所職員だと認識できることと同時に、職員も常に市民から見られているという、よい意味での意識と緊張感のもとで、職務に専念することを促すものです。現在、ユニフォームを選定中であり、案がまとまり次第、予算として議会に提案する予定です。  
③市政を執行する上で、契約は競争によるものとされ、公募による入札が基本となります。入札に係る事業の内容、予定価格、執行時期などは発注者として、市長の権限に属するものであり、全体的に適切で効率的な入札となるよう努めております。

## 市長の政治活動について

- 問** ①市長の個人事務所の維持管理経費及び選挙期間中に販売されたタクティクスへの対応は。

**答** (市長)  
①個人事務所の維持管理経費とご指摘の月刊誌の件については、政治活動や市長就任前の選挙活動に関することであり、議会の場でのお答えは差し控させていただきます。

### その他

- ・市民が決める、市民と進める市大改革について
  - ・市の課題について
- 質問を行いました。

### 敬老会開催のあり方について

- 問 ①最近5か年の出席率は。  
②近年の開催についての考えは。  
③今後の開催についての考えは。

答 (保健福祉部長)

- ①最近5か年の平均出席率は、滝根地区37%、大越地区38%、都路地区39%、常葉地区35%、船引地区28%となっております。  
②合併以来、市内12会場で開催していますが、出席者の減少、地元負担などが課題となっており、検討を要するものと考えております。  
③地域の声を聞きながら、開催会場、方法などを検討してまいります。



船引町雲田地区で開催された敬老会

### 観光事業について

- 問 ①見直すべきと考える観光資源とは。  
②発掘したいと考える観光資源とは。  
③今後の展望は。

答 (市長)

- ①歴史的建築物は、ライトアップや周辺環境の整備、イベントの実施などの見直しに取り組んでいきます。  
②これまでに脚光を浴びることのなかった観光資源を、新しい視点で掘り起こし、活用を探ってまいります。  
③観光行政は、地域経済の活性化や移住などにつながる重要な位置付けと認識しており、引き続き関係機関との連携を強化し、外国人観光客誘客も視野に取り組んでまいります。

### 農業の6次化について

- 問 ①候補となる作物は。  
②商品の販売についての考えは。

答 (産業部長)

- ①主力産品は水稻のほか、夏秋野菜、エゴマなどがあり、加工技術の進展により、すべての農作物が候補と考えられます。  
②商品の販売には、候補とする産品の市場調査分析を行い、販売戦略を策定することが重要と考えております。また、現在、特産品の一つであるエゴマのブランド化事業を進めており、ホームページやメディアを活用した販路拡大を実施してまいります。

今後の観光事業の展望は。

関係機関と連携を強化し、誘客に取り組みます。



遠藤 雄一 議員



市内小学校の統廃合の基本的考えは。

保護者などの意見を踏まえ議論します。



石井 忠治 議員

### 市内小学校等の統廃合計画及び現施設の有効活用について

- 問 ①市内小学校の統廃合の基本的な考え方と地域との合意形成は。  
②小学校及び幼保施設のトイレの洋式化の実態と改修計画は。

答 (教育長職務代理者)

- ①小中学校が過度に小規模化すると、教育条件に悪影響が出ることが危惧されることから、子ども達の将来を第一に、学校規模の適正化、統合にかかる検討が必要と認識しているものの、学校は教育のための施設であるだけにとどまらず、地域コミュニティの核としての役割を有していることから、地域との合意形成が重要でありますので、保護者や地域の方々のご意見を踏まえ、議論を深めてまいります。  
②現在の洋式化率は、小学校が13校平均で56%、幼保施設が16施設平均で58%であります。今後、洋式化率50%未満の小学校の改修と、幼保施設については、洋式化率と園児数を総合的に勘案の上、改修を進めてまいります。

### 船引バイパス供用開始に伴う周辺関連道路網整備計画の実態と課題について

- 問 ①バイパスと中心市街地を結ぶ道路網の整備計画の進捗と検証について。  
②第3工区の概要と早期完成について

答 (建設部長)

- ①市道駅前馬場線は平成32年度、市道船引石森線は平成30年度を、それぞれ完成目標年度とし、整備が進められています。平成28年度末の進捗率はそれぞれ、82%、59%となっており、供用が開始された区間では、車両・歩行者の安全確保と利便性が図られております。  
②船引町鏡ヶ池地内から常葉町米粉原地内までの延長約2.7km、車道幅員6.5m、片側歩道付き全幅10.5mで計画され、本年秋頃に、地元説明会が開催される予定と伺っております。

### 雇用創出及び定住化促進への取組みについて

- 問 ①トップセールスによる新たな企業進出の見込みと雇用予定は。  
②本市出身の経営者などとの情報交換・交流組織(ふるさと大使)の創設は。

答 (市長)

- ①船引町堀越地区において、100万羽を飼養する養鶏場に、地元雇用を60名弱予定しております。また、大越町の産業団地に進出予定のバイオマス発電事業では、20名程度の地元雇用が生まれる予定になっております。  
②本市出身者には、各界で活躍する方が多数おり、ふるさと会の一員としてご加入いただいておりますが、これにとどまらず、雇用創出や定住化促進の観点から、ご助言をいただけるような情報交換、交流組織につきましても有益であると考えられることから、今後、その創設について検討してまいります。

その他

・市内小中学校の学力実態と向上策の取組みについて質問を行いました。

# 請願・陳情のお知らせ

請願とは、憲法第16条に規定された国民の権利として、公の機関に対して要望を述べる行為で、必ず紹介議員を要しますが誰でも提出することができます。陳情とは、事実上の行為として議員の紹介なしで提出するものです。

## ○請願（陳情）書の書き方と提出方法

請願書などは、議会事務局へ直接持参してください。なお、定例会開会の5日前（土日祝日を除く）に開かれる議会運営委員会前日午後5時までに受付したものは、当該定例会で審議するかどうかを議会運営委員会で判断しますが、それ以降に受付したものは、次の定例会前の議会運営委員会で審議するかどうか判断することになります。

詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

※意見書提出を求める場合は、意見書の案文を添付願います。

【記載例】 請願（陳情）書

平成 年 月 日

田村市議会議長 ○○○○ 様

請願者 住所 ○○○○○○○○

(陳情者) 氏名 ○○○○○ 印

(連絡先) 電話番号 ○○○○○○○○

紹介議員 ○○○○ (署名又は記名押印)

※陳情の場合は不要

(件名) ○○○○について

請願（陳情）要旨 ○○○・・・・

請願（陳情）事項 ○○○・・・・



市民にしてあげたいことは。

市民生活を向上させる施策を展開します。



## 市政執行について

問 ①市民にしてあげたいことは。  
②市民してほしいことは。

答 (市長)

①市がもっと安心して元気に満ちあふれ、市民の皆様が、市に住んでいることに一層誇りを持っていただけるようなまちづくりを目指しており、日々幸せを実感しながら市内で暮らし続けることができるよう、生活を向上させる施策を展開してまいります。  
②市民の皆様にご希望することは、サービスを提供する側では分からない、受ける側だからこそ感じられている声をお寄せいただきたいことと、市政を運営する上で、市役所任せにすることなく、市民の意思で動かし、市民の手でともに市を創っていきたく願っており、これこそが、公約として「市民の手で地方創生」を掲げた思いです。

## 市民の顕彰について

問 ①汚染物の除去に取り組んだ移地区の方々と、他地域の汚染物の受け入れをした大倉行政区民の方々、それぞれに対する顕彰の考えは。

答 (総務部長)

①移地区の方々には、自分たちの地域を、自分たちの力で、一日も早く元に戻したいとの考えのもと、除染に尽力されたことに対し、感謝申し上げます。また、大倉行政区の方々にも、他地域の汚染物の受け入れをしていただき、除染作業がスムーズに実施できたことに対し、感謝申し上げます。それぞれの地域の方々には、市の復興に大きなご貢献をいただいたものと認識しておりますので、業務の受託を伴う事例の表彰のあり方、並びに他地域からの汚染物を受け入れていただいた他の地域の状況も勘案しながら検討してまいります。

## 市道三合内線の拡幅改良について

問 ①拡幅・改良の約束は。

答 (建設部長)

①本路線は、幅員が狭く急勾配で、特に冬期間の車両通行に支障をきたしていたことから、地元関係者から拡幅・改良の要望をいただいております。今後の交通量や財政状況などを見極めながら、改良の検討を進めてまいります。



その他

- ・観光行政について
  - ・環境創造センターと市の関係について
  - ・世界教師の日について
- 質問を行いました。

# 各常任委員会活動報告

## 総務文教常任委員会

委員長 半谷 理孝

### 6月定例会委員会審査

総務文教常任委員会には、条例の一部改正1件、工事請負契約1件の計2議案が付託され、原案のとおり可決すべきものと決定されました。また、12月定例会及び3月定例会で継続審査としていた陳情審査も行われ、審査の結果、採択すべきものと決定されました。主な審査内容については、次のとおりです。

### 市長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正

**問** 今回の条例改正による削減額は。

**答** (総務課)

平成29年度は7月からの施行となるため、242万4千円、平成30年度以降、年間に363万6千円の減額となり、任期中の削減額は期末手当を含めて、約1,700万円程度となります。

### 陳情の審査結果

「地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書の提出等」については、地方行政の広範かつ専門的な諸課題について、住民の意向をくみとり、執行機関の監視、政策提言を行うなど、重要な役割を担う地方議会議員の人材確保と幅広い層からの政治参加を図る観点から、地方議会議員の厚生年金加入のための法整備を早急に実現するよう、国に対して意見書の提出を求めるものです。

審査の過程において、本陳情の趣旨である、年金制度への加入といった、福利厚生面での法整備を図ることは大変重要であり、今後の制度設計を国において早急に検討していただくためにも、本陳情を採択し、意見書を提出すべきなどの意見が出され、採決の結果、賛成多数で採択すべきものと決定されました。

### 所管事務調査

6月20日に出張所の現状について、芦沢、七郷、移それぞれの出張所の所管事務調査を行いました。



所管事務調査（七郷出張所）



所管事務調査（芦沢出張所）

## 市民福祉常任委員会

委員長 遠藤 正徳

### 6月定例会委員会審査

市民福祉常任委員会には、条例の一部改正4件の議案が付託され、原案のとおり可決すべきものと決定されました。主な審査内容については、次のとおりです。

### 国民健康保険税条例の一部改正

**問** 今回の改正により、新たに軽減を受ける世帯、人数及び金額はどの程度増えるのか。

**答** (市民課)

医療給付分は、24世帯47人で、59万4,400円、後期高齢者支援金分は、24世帯47人で、14万8,890円、介護納付金分は、14世帯19人で、6万8,920円が、それぞれ新たに軽減の対象となります。

### 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業利用者負担額の上限を定める条例の一部改正

**問** 地域型保育事業には、小規模保育事業、家庭的保育事業、事業所内保育事業、居宅訪問型保育事業の4種類あるが、市内にはどのタイプがあり、定員はどのくらいなのか。

**答** (社会福祉課)

市内で認可されている施設は、事業所内保育所が1施設のみであり、定員は19名となっています。

### 所管事務調査

6月20日に、介護福祉の現況と課題について、船引こぶし荘の所管事務調査を行いました。



所管事務調査（船引こぶし荘）

## 産業建設常任委員会

委員長 大橋 幹一

### 6月定例会委員会審査

産業建設常任委員会には、請願1件、陳情3件の合計4件が付託され、審査の結果、請願は継続審査となり、陳情1件が採択、2件が不採択すべきものと決定されました。主な審査内容については、次のとおりです。

#### 請願の審査結果

「ため池除染に関する請願書」は、8,000ペクレル以上の数値が観測された市内7か所のため池除染の必要性について、市民の安全・安心を取り戻す政策の一環として議会において検討を求めるものであり、対象となるため池の最新の数値を調査し、その結果をふまえ、現地確認を行ったうえで、判断すべきとの意見が出され、継続審査を要するものと決定されました。

#### 所管事務調査

6月20日に、田村市産業団地造成工事の現状と仮称田村中央スマートインターチェンジの現状についての所管事務調査を行いました。



所管事務調査（産業団地工事現場）

#### 陳情の審査結果

- ①「福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の陳情」については、福島県の最低賃金は、2007年からの9年間、全国水準で31位と低位で、県内労働者の賃金水準や経済実勢などと比較しても極めて低いことから最低賃金の引き上げと改定諮問の早期発効を行うよう、政府に対して意見書の提出を求めるものであり、陳情の趣旨は十分理解できることから、審査の結果、全会一致で採択すべきものと決定されました。
- ②「作物栽培被害に関する陳情書」は、獣等による水稲、畑作物の被害を防止するため、電気牧柵の設置に係る補助割合を、30%から全額補助に拡大することを求めるものであり、電気牧柵の設置が被害防止の根本的解決にはならず、安易に全額補助とすることは望ましくないこととの意見などがあり、採決の結果、不採択すべきものと決定されました。
- ③「農業者戸別所得補償制度の復活を求める陳情」は、稲作経営の安定と水田のもつ多面的機能を維持するため、平成24年度まで実施されていた、農業者戸別所得補償制度の復活を求めるものであり、特定の農業者にのみ恩恵があり、国会においてすでに制度廃止が決定しているなどの意見があり、採決の結果、不採択すべきものと決定されました。

## 予算常任委員会

委員長 白石 恒次

### 6月定例会委員会審査

予算常任委員会には、平成29年度各会計補正予算議案3件が付託され、原案のとおり可決すべきものと決定されました。主な審査内容については、次のとおりです。

#### 平成29年度一般会計補正予算

**問** 当初予算については、骨格予算ということだったが、今回の補正には新市長の政策的予算措置が計上されていると思うがその概要は。

**答** (財政課)

事業名をあげると、大越中学校の進入路拡幅事業、旧大越公民館の解体実施設計、南東北大越診療所の解体・撤去工事、積み残しのある道路関係事業で、3億8千万円で、そのほかについては、これから順次計上してまいります。



**問** 優良後継雌牛導入事業補助金について、以前のように20万円を助成する考えは。

**答** (農林課)

今回、市長指示により10万円から15万円に増額いたしました。今後、再度検討してまいります。

**問** 外国人観光客誘客のための対策は。

**答** (商工観光課)

外国人観光客誘客あぶくま高原プロモーションとして、福島中央テレビに依頼し、観光客の多いタイ及び台湾でのテレビ放映をするためのビデオ製作を行う事業を実施しております。また、ガイドシステム導入事業として、平成28年度に実施したインターネットを活用した外国版文字作成をもとに、ガイドシステムを利用してあぶくま洞などの施設を案内します。

## 平成28年度 田村市議会政務活動費収支報告

会派(議員)名	市民net たむら	新政たむら	政友会	たむら 志政会	市民クラブ	木村高雄	吉田文夫	計
交 付 額	1,360,000	0	720,000	720,000	480,000	0	240,000	3,520,000
支 出 額	調査研究費	912,249	0	427,187	639,129	458,316	0	2,436,881
	研 修 費	37,364	0	0	0	0	224,962	262,326
	広 報 費	160,185	0	0	0	0	0	160,185
	広 聴 費	0	0	0	0	0	0	0
	要請・陳情 活 動 費	0	0	0	0	0	0	0
	会 議 費	0	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	510	0	70,942	0	0	0	71,452
	資料購入費	10,864	0	27,592	0	0	0	38,456
	人 件 費	0	0	0	0	0	0	0
	事 務 所 費	0	0	0	0	0	0	0
	合 計	1,121,172	0	525,721	639,129	458,316	0	224,962
返 還 額	238,828	0	194,279	80,871	21,684	0	15,038	550,700
支出割合 (%)	82.44%	0.00%	73.02%	88.77%	95.48%	0.00%	93.73%	84.36%
備 考	大橋 幹一 安瀬 信一 渡邊 照雄 箭内 仁一 菊地 武司  遠藤 雄一 (4月～ 11月)	石井 忠治 橋本 紀一 照山 成信	猪瀬 明 半谷 理孝 宗像 公一	遠藤 正徳 白石 恒次 大和田 博	土屋 省一 長谷川元行	無会派 の議員	無会派 の議員	

### 議会事務局からのお知らせ

田村市議会のホームページでは、議会に関する各種情報を公開しています。定例会等の開催日程や会議録など最新の情報をご覧になることができます。

#### ☆議会中継をインターネットにより動画配信しています！！

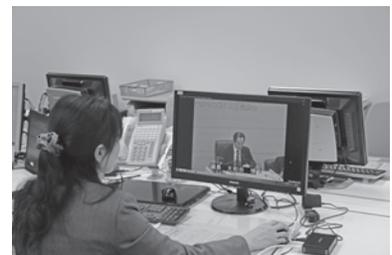
田村市議会では、インターネットを活用し、本会議中継を動画配信（ライブ及び録画）しております。市のホームページからアクセスしていただくと、代表質問や一般質問などの映像をご覧いただくことができます。

なお、ライブ配信は議会開催中に、録画配信は議会閉会后1週間程度でご覧になることができます。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

#### ☆市民の声を募集しています！！

議会や市政全般に対するご意見・ご要望など、原稿用紙1枚（360字程度）と住所、氏名をご記入いただき、顔写真を同封（添付）して持参、郵送、メールにより議会事務局までご寄稿ください。

なお、ご寄稿していただきました原稿について、「市民の声掲載基準」に基づき、掲載の可否を判断いたします。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。



#### ☆市政だより、議会だよりをスマホ用アプリ『マチイロ』でご覧いただけます！！

「たむら市政だより」、「たむら議会だより」をもっと多くの皆さんに読んでいただけるよう、スマートフォン用アプリ「マチイロ」を導入しました。この無料アプリをダウンロードすると、いつでもどこでもスマートフォンなどで「市政だより」や「議会だより」を読むことができます。

ダウンロード方法など詳しくは「マチイロ」のホームページをご覧ください！



☆アドレス☆ <http://machihiro.town/>



# シリーズ 市民の声

# シリーズ 若者の声



「安心して暮らせる田村市のために」

田村市大越町

みさか かおるこ  
三坂 薫子 さん

数年前から健康のためにウォーキングを始めています。ウォーキングの途中に出会った人とあいさつを交わしたり、鳥のさえずり、道路の脇に咲いている野の花、稲や野菜の成長に季節を感じ、田村市の豊かな自然に癒されています。

しかし、最近、田畑の荒地が目立ってきました。耕作していた方が高齢になり、作れなくなってしまったのかとさびしく思っています。年配の方にお話を伺うと、車の運転ができるうちはまだしも、これから先自分で病院や買い物にも行けなくなったときのことなど、心配し不安に思っているようです。

特に大越町では、病院が無くなってしまったことで、増々不安になっている方が大勢いるのが現実です。子供たちが就職や進学で田村市を離れると、田村市どころか県内にも戻らなくなっています。

人口減少や少子高齢化の問題は、本当に深刻です。若者が戻って来て住みたいと思えるとともに、高齢者も安心して暮らしていけるような田村市にしていだけるよう、議員の方々に期待しております。



「野球で田村市を活性化するために」

船引高校2年生（田村市大越町）

とみつか こうた  
冨塚 康太 さん

私は、子どもの頃から野球が大好きです。兄の影響で小学三年生の時にスポーツ少年団に入団しソフトボールを始めました。中学校ではいよいよ本格的に野球を始め、船引高校に入学すると迷わず野球部に入部しました。春季大会で県ベスト8に進出した先輩方の活躍を目の当たりにし、ますます野球に対する情熱が高まっています。心と体を鍛え、チームのみんなで先輩を追い越せるように、一丸となって練習に取り組んでいます。

冬の時期はグラウンドで練習ができないことのほうが多いですが、田村市の屋内練習場をお借りして、とても充実した練習ができています。本当にありがとうございます。自分に関わるすべての方々への感謝の気持ちを、試合では表現していきたいと思えます。そしていつか田村市に公式戦ができる野球場ができれば、自分のプレーを家族や田村市の方々に見てもらえる日が来ることを願っています。



## ☆9月定例会の開催予定☆

9月定例会は下記の日程で開催される予定です。議会は一般に公開され、どなたでも傍聴できます。なお、正式には定例会初日に決定されるため、変更になることもあります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

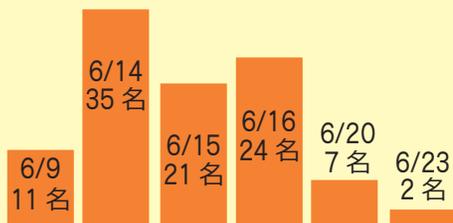
9月1日 (金)	初日 (招集日) 会期の決定、提案理由の説明等議事調査
9月6日 (水)	代表質問
9月7日 (木)	一般質問
9月8日 (金)	一般質問
9月11日 (月)	一般質問
9月12日 (火)	総括質疑、議案等の常任委員会付託 各常任委員会審査
9月13日 (水)	予算常任委員会審査
9月14日 (木)	決算特別委員会審査
9月15日 (金)	決算特別委員会審査
9月19日 (火)	決算特別委員会審査
9月20日 (水)	決算特別委員会審査
9月22日 (金)	最終日 各常任委員会審査結果報告、質疑、討論、採決



平成29年6月定例会の傍聴者

議会だよりへのご意見・ご要望をお寄せください！！

6月定例会は、延べ100人の方が傍聴されました。



昨年の6月定例会は、延べ37人の方が傍聴されました。



〈委員長〉 土屋 省一  
〈副委員長〉 遠藤 雄一  
〈委員〉 渡邊 照雄  
吉田 文夫  
石井 忠治  
筋内 仁一

前列左から土屋委員長、遠藤副委員長  
後列左から吉田委員、石井委員、筋内委員、渡邊委員

☆田村市議会ホームページアドレス☆

<http://www.city.tamura.lg.jp/site/gikai/>

